(桜川市行政評価システム) 記入年月日 令和 4年度 事務事業評価表(令和 3年度 の実績評価) 令和 月 事業区分 事務事業名 地下鉄8号線茨城県誘致促進協議会参画事業 事務事業No. 060305000284 新規/継続 継続 政策体系上の位置付け 単独/補助 単独 010201 所属課 総合計画の施策名 0603 時代に合った自治体運営 企画課 06 みんなで築く自治のまちづくり 03 時代に合った自治体運営 課長名グループ 策 政策名 体 施策名 企画グループ 系 手段名 05 ⑤広域連携の推進 担当者名 財務会計上の位置付け 期 業 会計 款 項 目 事業 細 一般会計 単年度繰返し 年度~) 予算科目 01 02 01 08 01 00 企画事業 期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入 法令根拠 [Do] 事務事業の現状把握(その1) (1)事務事業の概要 ①事務事業の概要(事務事業の全体像) ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 埼玉県野田市までの整備計画が決定している「東京直結鉄道地下鉄8号線」 協議会、要望活動、勉強会への参加。 について、 茨城県への早期誘致・延伸を図るために、 茨城県と関係市町村が広域的に協力し、 意見交換や要望活動を行うとともに、 地域の住民や団体、 行 ・誘致大会、講演会への参加。 政、議会が連携し、地域が一体となった誘致活動を展開する。負担金は当面発 生しない。 段 構成自治体は、坂東市、下妻市、常総市、筑西市、桜川市、八千代町の5市1 町。 (2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

		- 1/0	PAULIX NIA	WE C 11010	101111111111111111111111111111111111111	157			- 1	02年度		03年度	04年度	05年度	06年度
1	手段	ጀ (担当者の活動内容)		④活動指標	(活重	加量を表す指標)		単位	(実績)		(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
				協議会•要望	活動	・勉強会の実施回	数		2.0	0	0.00	2.00	2.00	2.00	
・協議会、要望活動、勉強会への参加。				誘致大会・講演会の実施回数					2.0	0	0.00	2.00	2.00	2.00	
•	・誘致大会、講演会への参加。									0,0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
2	②対象 (誰、何を対象にしているのか)				⑤対象指標	(対象	見の大きさを表す指標	票)	単位	O2年度 (実績)		03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
					参加自治体数	Ż			団体	6.0	0	6.00	6.00	6.00	6.00
関	系自	治体。	,							0.0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
									0.0	0	0.00	0.00	0.00	0.00	
3	③意図 (この事業によって対象をどう変え るのか)			⑥成果指標		象における意図の達成 長す指標)	戊度	単位	O2年度 (実績)		03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	
	地域・行政・議会が一体となって誘致活動 を展開する。				実施した誘致活動数					2.0	0	0.00	2.00	2.00	2.00
										0.0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
										0.0	0	0.00	0.00	0.00	0.00
(3)	投	入量(事業費)の推	推移 —	02年度 (実績)		03年度 (実績))4年度 (計画)			年度 標)	06年度 (目標)		間限定 投入量
			国庫支出金	千円		0	0			0					
投	=	財源	県支出金 地方債	千円		0	0			0					
	業	内	使用料•手数料			0	0			0					
	費	訳	その他	千円		Ō	0			Ö					
入			一般財源	千円		0	0			0					
			事業費計(A) 千円 千円		0 0				00.1	0					
量		正規職員従事人数 人		2.00人 2.00人 2			人00人								
	02年中市受弗 中				(丰 (工 田)					045	工府車業弗	予算(千円)			
		O3年度事業費 実績(千円) 									041	+ 文	1/昇(十円)		
击															
事業										<u> </u>		·			
費											-				
の															
内訳															
九															

0

合

計

0

合

計

				(桜川市行政評価システム)							
	下鉄8号線茨城県誘致促進協議会参画		60305000284	所属課 企画課							
	たきっかけは、いつ頃どんな経緯で開										
	主眼に、坂東市が中心となり、関係自治 延伸を図るため平成23年度末に協議会										
	関係者(住民、議会、事業対象者、利			?							
	議議時に、議長より桜川市にとってメリ 「はいった」 「はいった」	ットがある計画にして欲しい	との要望が出された。								
【See】 2. 評価の部	*原則は事前評価。	評価項目									
①政策体系との整合性	(この事務事業の目的は市の政策体系に結び		昔びついているか?)								
現におびついている状											
維 ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?)(法定受託事業はその名称) 持											
<u>妥当である</u> 鉄道の延伸・整備といった公共交通に係る取組なので、妥当である。											
③ 成果の向上余地 (成	果を回上させる新地はあるか?成果の現状が	K準とめるへさ水準との差異はなり	ハか?何か原因で成果同上が	別付でさないのか?)							
向上余地がないまだ取り掛かったばかりの事業であることから、現状では判断できない。											
有 4 廃止・休止の成果への	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)										
効 影響有性	影響有 た、自治体連携による取組のため、本市が抜けることにより関係機関に対する要望などに影響力が低下することも懸念さる。										
⑤類似事業との統廃台・ (他に手段がある場合)	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか?(市以外の取り組みも含む)) (地に手段がある場合) 目はないた手段 事務事業名										
(他に手段がある場合) 具体的な手段、事務事業名 「余地がない 特になし											
	今地(は用なてげずに東業弗な判除で	きないかりめんちなエキレブ	エベ業双車業を削減できた	5(14)2)							
	余地(成果を下げずに事業費を削除でき	さないがくやり力を工大して製	4个果務事果を削減しさん	K(IN, 5)							
率性 削減余地がない	発生するのは、人件費のみである。 必要最低限の対応である。										
公 受益機会・費用負担の)適正化宗地 (事業の内容が一部の受益を	皆に偏っていて不公平ではないか'	?受益者負担か公平・公正に	-なっ (いるか?)							
平性と公正・公平である	多くの人の利用が見込まれる公共3		適正である。								
【Plan】 3. 評価結果の組 (1) 1次評価者としての	総括と今後の方向性(次年度計画と予算 N証価結果	∮への反映 <i>)</i> │(2) 全体総括(振り返り) 反名占)								
①目的妥当性 ■ 適	切 □ 見直し余地あり 切 □ 見直し余地あり 切 □ 見直し余地あり	勉強会、誘致促進の決起大会	会が実施された。主幹市で であるが、本事業の波及交	である坂東市の企画に参画のみとなっか果と自治体連携による取り組みであ							
(3) 今後の事業の方向性				(4)改革・改善による期待成果							
□ 終了 ■ 継続	□ 改革改善を行う □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		_	(終了・廃止・休止の場合は記入不要)							
□ 廃止 □ 休止	■ 現状維持										
向											
(5) 改革,改善を実現す	の一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	次來		成 無 日本							
	改革改善に向けての指摘事項	1(2) 前目探訊など	(神戸証本により)								
(1) 課長評価		(2) 部長確認及び評	Ⅲ (砞友評価により、)	C、D判定及び確認が必要な場合)							
課長確認後の評価	代維持) C:終了、廃止、休止 る改善を行う) D:2次証価へ提出	確認欄									